

創立15周年記念

佐倉フィルハーモニー管弦楽団 第30回 定期演奏会

指揮：飯森範親
ピアノ：三船優子



指揮 飯森 範親



ピアノ 三船 優子

曲目：ベートーヴェン／「エグモント」序曲 Op.84
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番 八短調 Op.37
ラフマニノフ／交響曲第2番 ホ短調 Op.27



1998年12月20日(日) 14:00 開演

佐倉市民音楽ホール〈京成臼井駅南口下車徒歩5分〉

入場料700円 (全席自由)

- 主催：佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団
- 協賛：千葉県トヨタ販売会社グループ、トヨタ自動車株式会社
- 協力：(社)日本アマチュアオーケストラ連盟

前売所・予約・お問合せ：佐倉市民音楽ホール 043-461-6221
団員募集中：連絡先 事務局・岩立 043-489-4486

プロフィール

飯森 範 親 NORICHIKA IIMORI



指揮：飯 森 範 親

1982年、桐朋学園大学指揮科入学。小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、ジャン・フルネなど各氏に師事。1985年、第20回東京国際指揮者コンクールで優勝。1987年、プザンソン国際青年指揮者コンクール第2位入賞。1988年、マスタープレイヤーズ国際コンクール指揮部門で優勝、併せて、大賞を受賞。1989年、第15回『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。10月より2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員として、バイエルン国立歌劇場W.サヴァリッシュの下で研鑽を積み、新演出オペラの制作に携わった。1993年、第5回村松賞受賞。1994年、東京交響楽団ポルトガル公演に同行。1995年9月にはモスクワ放送交響楽団来日公演に客演。1996年3月にフランクフルト放響に客演し、好評のため'99年4月に再び招かれることになった。5月には東京交響楽団ヨーロッパ公演に同行し、ミュンヘン公演で各紙から、絶賛された。12月には、ケルンでケルン放送交響楽団に初めて客演した。オペラの上演も多数手掛けており、三木稔作曲オペラ〈ワカヒメ〉の初演や、三木稔作曲〈静と義経〉の初演で大成功を取めた他、ドイツ、イタリアのオペラを数

多く指揮している。

海外では、チェコ国立ブルノフィル定期演奏会、モスクワ放送交響楽団定期演奏会、ブラハ交響楽団定期演奏会に客演し、大成功を取めた。CDはモスクワ放響と、ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』『ペトルーシュカ』を録音（レコード芸術誌準推薦、STEREO誌93年度特選最優秀録音盤）。1995年8月には『火の鳥』全曲も発売された（音楽の友誌推薦）。また、同年3月チェコフィルと、カバレフスキー『道化師』、ドビュッシー作曲『牧神の午後への前奏曲』等を録音し、「チェコ・フィル プロムナード・コンサート」として発売されている（いずれもキャニオン・クラシックス）。

現在、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、東京交響楽団指揮者、オペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者。

三 船 優 子 YUKO MIFUNE



ピアノ：三 船 優 子

東京に生まれる。6歳から12歳の間、ニューヨークで生活、ジェローム・ローエンタール氏に師事。帰国後、故井口秋子、奥村洋子、故安川加寿子の各氏に師事。

1988年、第57回日本音楽コンクール第1位入賞。併せて野村賞、井口賞、河合賞を受賞。翌年、桐朋学園大学を首席にて卒業。赤坂御所における桃華堂コンサートにて御前演奏を行なう。その他、国内各地の演奏会で活躍。

1990年9月、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院に留学、マーティン・キャンニンに師事。室内楽をサミュエル・サンダース氏に師事。

1991年5月、ロス・アンジェルス、ドロシーチャンドラー・ミュージック・バビリオンにてジャパニーズ・フィルハーモニック・オブL.A.と協演、米国デビューを果たし、L.A.TIMESにて絶賛される。さらに同年10月、フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール優勝。カーネギー・ホール、リンカーンセンター等でリサイタルを行い、ラジオ局「WQXR」にて全米放送される。

1992年5月、ジュリアード・ソリスト・オーディションに優勝。リンカーン・センターにてオットー・ミュラー指揮、ジュリアード・オーケストラと卒業記念コンサートで協演、成功を取めた。同年9月、ニューヨークより帰国後、オーケストラと協演など、各地で演奏活動を再開、活躍中。これまでに、「リスト／巡礼の年 第2年イタリア」「リスト／メフィスト・ワルツ」「ラブソディー・イン・ブルー」の、3枚のCDをリリースし（全てファンハウス）、いずれも好評である。

1995年4月よりFM横浜の音楽番組「オーセンティック・ジャーニー」「ラ・ゴンドリエラ」のパーソナリティーをつとめ、リスナーに高い人気を誇る。

1996年1月には東芝グランド・コンサートでモスクワ・フィルハーモニー交響楽団と全国各地において協演。また6月から翌年3月まで「HASEKO CLASSIC SPECIAL／三船優子 煌めくピアノイズム」と題したセルフ・プロデュースによるコンサートシリーズを行い、好評を博した。

1997年5～6月には、サンクトペテルブルク交響楽団日本ツアーに参加し、各地で成功を取めた。

(1997年7月現在)